

## 研究主題

# 主体的に学習し、生き生きと活動する子どもの具現化をめざして

### (1) 研究主題について

#### ① 本校の研究目標から

本校の教育目標は「人間尊重の精神を基底に置き、建学の精神『まごころ』を継承し、『すべては子どもたちのために』を合言葉に学校職員一丸となって取り組んでいる。」

『まごころ』とは、相手の立場に立って考える態度、弱いものを思いやり、美しいものや自然に感動する心である。そのような『まごころとたくましさを身につけた子』が本校のめざす子ども像である。

また、これまでの健康教育への取り組みから、心身のたくましさにこだわってきた。その成果も現れ、継承していくべきことも見えてきた。そこで、昨年度からは、「自分の考えを持ち、自分の意思を貫くたくましさ」へ研究の焦点を当ててみた。

#### ② 児童の実態から

本校の子どもたちは従順で、授業態度、宿題や家庭学習への課題意識をきちんと持っている子どもが多い。また、学力の偏差値に関しても、どの学年も全国平均を上回っている状況である。しかし、授業を進めていても日常の様子を見ていると自分の考や解答に自信が持てなかったり、自分の学習力に自信が見られなかったりする子どもを多く見受ける。

### (2) 研究目標と内容

そこで、次のような目標を立てて取り組むことにした。

- ・ 主体的に学習へ取り組み、たくましい意思と実践力をもった子どもを育成する。
- ・ 少人数指導法を意識した授業の工夫と改善に努め、教師としての指導力の向上をめざす。
- ・ 新学習指導要領にそって、言語力を高める授業を工夫する。

そのために、具体的な努力事項を次のようにする。

- ① 全体での理論研究をもとに、学年部での研修に努める。
- ② 授業研究(3つの部会)を通して、教師の実践力を高める。
- ③ 日常の教育の場でできることを考え、推進する。
- ④ 教育課程の改善に伴う研修に努める。